

企画競争説明書の訂正

2021年9月30日（木）付公示の業務名称「中国5県における外国人材受入・多文化共生に係る調査（企画競争）」について、下記のとおり訂正します。

また、これに伴い、入札説明書を訂正版に差し替えます。

2021年10月5日

独立行政法人国際協力機構
中国センター
契約担当役
所長 岡田 務

記

- 原説明書11頁 3. 業務の内容（1）調査・活動計画書の作成、提出 に下線のとおり追記・訂正します。

（訂正前）

調査全体の方針・方法、調査対象地域・機関、調査内容、JICAの支援・貢献に関する提案に当たっての主なポイントを含む調査計画を検討し、レポート（パワーポイント可）にまとめたうえで発注者に内容を説明し協議・確認を得ること。

なお、JICA 北海道の「北海道における外国人材の現状・課題等に関する調査報告書」（2020.3）、JICA 九州の「九州における外国人材の現状・課題等に関する調査報告書」（2020.3）、JICA 東北の「東北における外国人材の現状・課題等に関する調査」（2021.3）等で、日本全体に共通する課題、外国人材受入の制度説明や制度的課題、JICA 国内事業の概要は記載されていることから、上記報告書を表面的に踏襲するような調査計画ではなく、中国地方の地域特性や外国人在住者の特徴を踏まえた、独自性のある調査計画を検討すること。

（訂正後）

調査全体の方針・方法、調査対象地域・機関、調査内容、JICAの支援・貢献に関する提案に当たっての主なポイントを含む調査計画を検討し、レポート（パワーポイント可）にまとめたうえで発注者に内容を説明し協議・確認を得ること。

なお、外国人材については広島県及び鳥取県にて以下リンクのとおり類似の調査がなされていることから、それらを参考にしつつ、既存調査結果をより深掘りするような調査・活動計画を立てること。

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/foreigner-emp/research-final.html>

<https://www.pref.tottori.lg.jp/296615.html>

また、JICA 北海道の「北海道における外国人材の現状・課題等に関する調査報告書」(2020.3)、JICA 九州の「九州における外国人材の現状・課題等に関する調査報告書」(2020.3)、JICA 東北の「東北における外国人材の現状・課題等に関する調査」(2021.3)等の報告書も参照可能だが、日本全体に共通する課題、外国人材受入の制度説明や制度的課題、JICA 国内事業の概要は記載されていることから、上記報告書を表面的に踏襲するような調査計画ではなく、中国地方の地域特性や外国人在住者の特徴を踏まえた、独自性のある調査計画を検討すること。

- 原説明書 14頁 5. 業務実施体制等 および 20頁 1) 直接人件費 について、以下のとおり訂正します。

(訂正前) M/M

(訂正後) 人月

- 原説明書 14頁 5. 業務実施体制等 (1) について、下線のとおり追記・訂正します。

(訂正前)

受注者は、総括、副総括、調査担当 2 名の計 4 名を定め、2 チーム体制で調査を実施することが望ましい。

(訂正後)

受注者は、総括、副総括、調査担当 2 名の計 4 名を定め、2 チーム体制で調査を実施することが望ましい。そのため、中国 5 県における知見・人脈を活用した形での共同企業体の形成を歓迎する。

- 原説明書 18頁 別紙 評価表 (評価項目一覧表) の 2. 業務の実施方針等 (2) 業務実施体制、要員計画 に下線のとおり追記・訂正します。

(訂正前)

- ・提示された業務の基本方針及び方法に見合った実施 (管理) 体制や要員計画が具体的かつ現実的に提案されているか、業務実施上重要な専門性が確保されているか。具体性のないあいまいな提案となっていないか。
- ・要員計画が適切か (外部の人材に過度に依存していないか。主要な業務で外注が想定されていないか)。

(訂正後)

- ・提示された業務の基本方針及び方法に見合った実施 (管理) 体制や要員計画が具体的

かつ現実的に提案されているか、業務実施上重要な専門性が確保されているか。具体性のないあいまいな提案となっていないか。

- ・ 要員計画が適切か（外部の人材に過度に依存していないか。主要な業務で外注が想定されていないか）。
- ・ 中国5県の知見・人脈を十分に理解・活用できる要員配置であるかどうか。

以 上